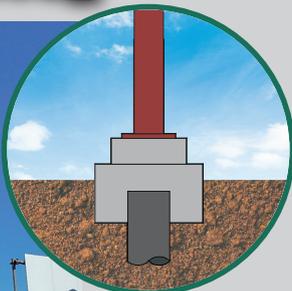


つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

実践に強い!貫入性能No.1 『e-pile next』



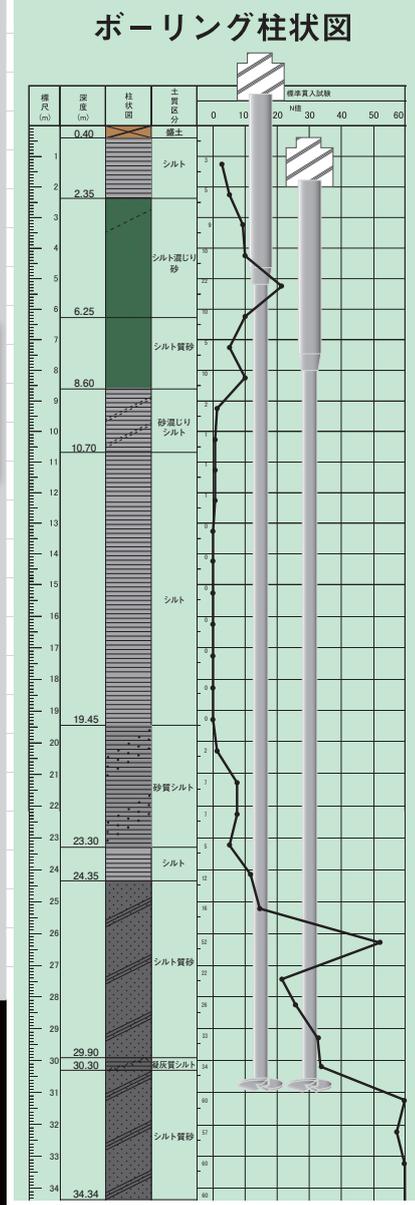
工事名	某幼稚園 新築工事
施工地	愛知県名古屋市
用途	幼稚園

杭の種類

- φ355.6mm Dw800mm L=32.15m 6set
- φ318.5mm Dw800mm L=32.15m 10set
- φ267.4mm Dw700mm L=32.15m 28set
- φ267.4mm Dw700mm L=30.70m 2set
- φ267.4mm Dw600mm L=32.15m 13set

本物件は、愛知県名古屋市に建設される某幼稚園の杭基礎工事です。今回、S造の1柱1杭基礎工法の採用にあたり鋼管杭/e-pile next工法の短工期、高支持力や不陸地盤対応及び打設施工精度等の利点を考慮いただき受注となりました。また、打設地盤ではGL-26m付近のN値50を超える砂層を確実に打ち抜き、31m以深の安定した支持地盤へ貫入させることも課題となりましたが、e-pile next工法の菱形切削穴による抜群の貫入性能により全数支持地盤まで貫入する事ができました。元請様には施工地盤の養生、地中障害撤去等ご協力いただき、無事に工事を完了することが出来ました。

☆ご採用いただき、誠に有り難うございました。



e-pile next

国土交通省大臣認定工法

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号:KT-160071-A

- 国土交通大臣認定
 - TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)
 - TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜支持力)
 - BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
 - BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤
 - BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 日本環境協会
 エコマーク認定 08 131022号

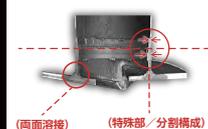


全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「菱型穴」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「特殊部」により解決しました。
- コストの問題を・・・「自社施工」により解決しました。

■高力構造/拡翼断面図



■FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

検索 e-pile



「コンクリート構造物のうき・剥離を検出可能な非破壊検査技術」を公募します ～新技術情報提供システム (NETIS) テーマ設定型 (技術公募) の実施～

近年、橋梁点検における様々な非破壊検査技術が開発されてきていることを踏まえ、次世代インフラ用ロボット現場検証委員会橋梁維持管理部会において「コンクリート構造物のうき・剥離を検出可能な非破壊検査技術」の評価が本年1月に行われたところです。国土交通省では、本評価に基づき公共工事等における新技術活用システムを利用し、「コンクリート構造物のうき・剥離を検出可能な非破壊検査技術」を公募します。

- 1. 公募技術** コンクリート構造物のうき・剥離を検出可能な非破壊検査技術
- 2. 公募期間** 平成29年6月21日(水)～平成29年7月20日(木)
- 3. 公募要領等** 下記のホームページより、公募要領及び申請書様式をダウンロードできます。
 ・国土交通省のページ(http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000426.html)
 ・九州地方整備局 新技術関係 (NETIS) のページ(http://www.qsr.mlit.go.jp/for_company/shingijyutu/index.html)

応募された技術のうち、活用効果が高いと思われるものについては、国土交通省の事業・実現場において試行し、その機能・性能などを確認・評価します。また、評価結果は、新技術情報提供システム (NETIS) 及び維持管理支援サイトで公表します。 ※詳しくは「国土交通省」のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム 気になる口臭の原因と対策



気になり出したら気になって仕方がないのが口臭です。顔を近づけて話すことを避けてしまいがちで「人づきあいが悪い」と思われたり、狭い会議室でのミーティングを嫌ったりするなど、いいことはありません。ではどうしたらいいのでしょうか…?

原因

- 唾液の量が少ない
- 舌苔(舌の表面にできる白い苔のようなもの)
- 食べ物の残りカス
- ホルモンの変調(妊娠時や更年期など)
- ビタミン剤(活性型ビタミンなど)
- 臭い玉



臭い玉って?

扁桃腺にできる「白いつぶつぶ」のことを言います。大きさは米粒程度のものが多く、咳やくしゃみで排出されることもあり、それを手に取って嗅ぐと「硫黄をさらに強烈にしたような臭い」がします。扁桃腺で捕獲したウイルスや細菌の死骸がたまってしまったものが、臭い玉の正体です。そのため、扁桃を持っている人なら誰にでもできる可能性のあるもので、唾液が少なくなっていると臭い玉がたまりやすくなってしまい、口臭の原因となります。口呼吸をしているなど、口の中が乾燥している場合には気をつけなければいけません。

口臭対策

生理的口臭は歯磨き・食事・ガムを噛むなどによってかなり解消出来ます。その他には…

- ・口の渇きをなくす
- ・専用の舌ブラシを使う
- ・食後に口をすすいで食べカスを残さない
- ・甜茶を飲む
 (甜茶抽出物やタンニン類は唾液分泌量を促進し、口臭抑制に関与)



歯磨きやガムといった普段の生活に取り入れやすい習慣と同時に自分に合った口臭対策を見つかけられると良いですね。



経理マンが行く



鬱陶しい梅雨の季節となりました。この時期を乗り越えて暑い夏が待ち遠しい今日この頃です。

さて、先日元フリーアナウンサーの小林麻央さんが癌の為、死去しました。連日報道が様々飛び交う中、今現在闘病中の患者の方々にはこの報道がどのように移ったでしょうか。

あるテレビ番組に、家族が現在闘病中だというコメンテーターの方が出演をされていました。この方は麻央さんのブログ配信に対し「もっとかん患者の為の配信をして欲しかった」と訴えておられました。例えば「こんな治療をしたら、こうなった」「これを食べたらこう効いた」など「こんな事をしたら」をもっと配信して欲しかったと述べたのです。

それほどがん患者の方々には人事ではなく、生きる為に必死なのだという切実な思いが伝わってきました。

では、癌は怖い病気なのでしょうか。50～60年ほど前は、肺結核になると手術で片肺を取ってしまう人が大勢いました。また現代では、肝臓の悪い人に家族が肝臓の一部を提供しそれを移植する、生体肝移植という治療も行われています。提供する側は肝臓のおよそ3分の1をあげることになり、移植を受けた人は少なくとも手術直後は健康な人の3分の1の大きさの肝臓で生きていくこととなります。肝臓の3分の1をあげた人は、残り3分の2で手術直後は生きていくこととなりますが、いずれは元に近い大きさに戻り、2人も生きていきます。

つまり、肺は半分、肝臓は3分の1しか残ってなくても、最低限の機能を維持することができるから、私たちは生きていけるのです。

癌の転移もこれと似ていて、癌が他の臓器に転移すると、残りの正常な部分で臓器機能を維持することになるので、その機能が最低限の機能を維持していれば、死ぬことはありません。癌が増え続ける細胞である以上、いずれは転移した細胞が増えて、生命を維持するために必要な臓器の機能を低下させ、命を失う可能性はあるかもしれません。

しかし、そうなるまでの間、治療でがんの進行を遅らせることもできるのです。思ったより時間の余裕があるということになりますね。

残念な事に麻央さんは亡くなりましたが、癌＝死という、どうしても暗いイメージが付きやすい癌でも、必要以上に事態を悲観してしまわず、存命の為に様々な治療があるという事がわかっただけでも癌は必ずしも怖くないと前向きになれます。深刻な病気の治療にあっている患者の方々の経験が次の治療にどれだけ貢献し、医療の進歩に繋げていくのかと思うと、「生きる」という意味を改めて考えさせられました。

